

特定非営利活動法人手賀沼トラスト会報 第 13 号(発行日:平成24年8月1日)

## 「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目 13 番 5 号

e-mail:info@teganuma-trust.jp

ホームページ:http://teganuma-trust.jp/



### NPO 法人化一年を振り返って

理事長 遠藤 織太郎

昨年3月11日の東日本大震災は原発事故を加え、日本の歴史に残るあまりにも大きな災害をもたらしました。その復旧・復興は始まったばかりであり、放射能物質除染作業もようやく本格的に進められようとしています。

そのような中で、手賀沼トラストは2年前から準備をしてきたNPO法人化を会員の総意を以て決定し、所定の手続きを経て昨年7月千葉県での認証を頂き、正式に特定非営利活動法人手賀沼トラストとして活動を始めました。

この一年を振り返って見ますと、大震災の影響、放射能汚染対策などありましたが、NPO法人としての組織体制の強化をはかり、社会貢献を目指した諸事業の当初計画をほぼ遂行できたと思います。環境保全事業、農事・農教室事業、農地保全事業、交流事業、事務局業務など各部門リーダーを中心にスタッフがそれぞれの立場で尽力し、成果を挙げることができた賜ものであったと思います。

一方、放射能物質除染対策では、本法人が実施してきた冬期湛水(冬水)田んぼや有機(無農薬・無化学肥料)生態系農業の取組みが、土壌の放射能低減に大きく寄与することが測定結果からも明らかになっています。今年収穫したジャガイモからの放射能物質(セシウム134と137)は検出せずとなっています。安全・安心な堆肥づくり、ポカシ肥づくりも皆で汗を流して用意し、田んぼや畑に有効に使うことができました。

これら全ての活動は会員の方々の熱心な取組みがあったればこそその成果です。それぞれの立場で懸命に取り組むことにより、目標は達成されます。同時にグループ間で、また参加者それぞれの絆、連携を図りながら活動することが基本であることは言うまでもありません。皆さまのご苦勞に心から感謝申し上げますと共に、2年目の本年度も本法人の更なる充実、発展をめざして共に頑張りましょう。

去年は惨憺たる1年だった。春先の分蜂を期待して、連日の監視態勢をしいたが空振り。挙句の果てに女王の頓死によりこの虎の子の1群が消滅。杉野農園で捕獲した別の1群を移設して辛うじて命脈を繋いだのだった。しかし、今年は春から大量捕獲の予感に満ちていた。金稜辺を13鉢も所有する谷口さんが加入し、嶋谷さんの士気も高い。

2月26日に女性会員も参加して、蜜蝋ハンドクリームの製作と蜂蜜ホットケーキの試食で出陣式。本格始動は3月末、杉丸太をくりぬいた、谷口さん製作による巣箱に谷口さん提供の金稜辺を添えて、手賀城址・ミカン山・杉野農園に設置。城址下圃場のハチ用花畑に、日暮さんの指導のもと、ソバと菜の花の種も播いた。準備は万端である。

4月5日、巣箱の上の桜の枝に蜂球が出来た。分蜂である。谷口さんが桜の横枝にまたがる。私は下から指示を出すだけ。大きな谷口さんだが体が利く。みごと新しい巣箱に収容。この群は杉野農園に運んだ。翌日、寺田さんから電話が。ハチが大量に飛んでいるとのこと。慌てて駆けつけると、昨日と同じところに固まった。今回は嶋谷さんが捕獲実習。やや及び腰ながら、これもみごとに取り込んだ。この群はみかん山に置いたが、のちに杉野農園に移した。さらに2日後、今度はつつじの繁みに固まった。谷口さんに収容してもらい、自宅に置いてもらったが、残念ながらこの群は2日後に逃去してしまった。

その後、根戸城址の箱に1群が自然入居し、他所からもらわれてきた1群も加えて根戸城址に3群、杉野農園に2群、あわせて5群と大戦果である。6月11日には、巣箱の点検をかねて採蜜を敢行。2つの箱からあわせて4リットルも採れた。蕎麦祭りのおりにでもトラスト会員の皆様に試食していただいたうえ、残りは、女性会員に人気の蜜蝋ハンドクリームとともにお分けしたいと思っている。乞う、ご期待。  
(富澤 崇 記)

## 活動報告

## はじめての収穫

## 農事・農教室グループ

7月7日(土)はジャガイモの収穫とカレーパーティーでした。今日は七夕祭りというのに、九州の大雨と土砂崩れ！先生やスタッフの方々も天候を気にしながらの開催決定ではなかったのでしょうか。空模様も気にしながら、カレーを早めに作って、早く食べてと、皆大急ぎで真剣そのものです。60人も人が参加して、何とか雨にも降られずにカレーパーティーが始まり、美味しく、楽しく和気藹々と大きなジャガイモが入ったカレーを食べました。裏方では、カレーの達人、ご飯炊きの名人、さらに、福神漬やラッキョウ作りの名人までいてびっくりしました。帰りには、メイクインとキタアカリのお土産まで頂きました。ジャガイモは4割が腐ってしまったようですが、自然の恵みの有難さ、育てる難しさを感じ、大地への感謝を心新たにしました。

7月14日(土)は「案山子祭り」に参加する人達の案山子作りがありました。私は用事のため、参加できませんでした。

7月22日(日)は、チーム毎の案山子作りと、トウモロコシの収穫です。1日延期になったので、人数も少ないかと思いましたが、子供3人を含む51人の人たちが参加しました。天気も気になる中、8時30分から、まず案山子作りが始まり、各チームともアイデアを出し合い、笑い声をあげながら制作しました。みんな子供の頃に戻ったようで楽しい時間を過ごしました。私が所属する原チームは、原さんが準備をしてくださり、鳥追娘が時間内に出来上がりました。出来は上々でした。トウモロコシのゴールドドラッシュ(魅惑のコーン)の収穫と圃場の整備をしました。ゴールドドラッシュという品種は甘みもあり、生でもおいしいということですが、一足先にハクビシンに味見されてしまい残念！私は用事のため、ここで先に失礼しました。(勝田 直美 記)

## ～ レシピ紹介 ～

先日、農教室カレーパーティーで好評だった前田さんの特製福神漬レシピをご紹介します。丹精こめて収穫した農教室の作物を一層美味しく食べられるように、皆様からもいろいろなお知らせ下さい。

【材 料】 大根、人参、なす、かぶ、ごぼう、キャベツ、ピーマン、ブロッコリー、蓮根、なた豆、うど、筍、胡瓜、西瓜の皮、生姜  
以上のうち、7～8種類。(好みでいくらでもよい)

材料1kgにつき、塩80gをませ、重石をして1日おく。 2日目は を全部ませ返し、前同様、1日重石をしておく。  
汁を搾り捨てる。手のひらで固く搾り捨てる。 の分量を量る。

の分量1kgに対し、砂糖300g、醤油1カップ半、酢コップ6分目、酒3分の1カップ、味の素茶さじ1を用意する。

(1回目の仕込み) 醤油と砂糖をあわせ煮立たせ、そこに野菜を煮ないように入れ、5分間位(少ないときは3分でもよい)たえずかき混ぜる。(火力は中火以下)

(2回目の仕込み) をザルにあげ、野菜と汁を分け、また汁を煮立たせ、 と同じように混ぜ合わせる。

(3 回目の仕込み) と同じようにザルにあげ、汁を十分に煮詰め、ポトッと落ちるくらいまで煮詰まったら残りの の調味料を全部入れる。

を再び火にかけ、野菜を全部入れ、煮立たせないように3～5分ほど混ぜる。火から下ろしたら実と汁を分けて冷ます。が冷めたら合わせて漬け込む。10日位で食べられる。(すぐ食べてもよい)

(遠藤 洋子 記)

「今年も咲き揃いましたね」「お陰さまに」「今年は色が少し薄いようで」「そうですか」「毎日、ここを通り、毎年花を楽しみにしているの」、ある日の早朝5時半頃、中年の男性が花に接し、カメラを向けていました。「どこからいらっしゃったのですか」「柏の豊四季の中学校教師で社会科の担当です」「おやまた、社会科の先生がどうしてハスの花を」「あちこちのハスの花を撮り、ここの花が一番早く、また、一番綺麗なので、花の咲く過程を撮り、子供達に教えるために連日通っているんです」「それはまたご苦労様で、折角ですからこのハスの花がなぜここに咲いているかもぜひ子供達に伝え、環境創設・保全の必要性和トラスト活動の実際を社会科の教材としてぜひ教えて下さい」「わかりました。それにしても綺麗ですね」。中年夫婦「お早うございます、今年も母を連れてきました。毎年、この花を見るのをとても楽しみにしていますので、お世話になります。年々周りも綺麗になってきましたね」。松戸のカメラマン夫妻「このハスは仲間のメッカで、他のグループには教えたくないんです」「まあ、そうおっしゃらずに大勢で楽しんでください、それが我々の願いで手入れにいそしんでいます」。ハス田で交わすふれあいで朝の会話です。

この花ハス田はNPO法人手賀沼トラストの常時、市民と直接触れる唯一の場所です。それ故に常に新しい景観の創出に工夫をこらして来ました。年々それが実り、多くの市民の目を楽しませることが出来、苦労が報われる思いです。

初めて信託を受けたときのこの土地は、手の付けられない雑草の湿地と膝までぬかる泥田で、当時を知る人にとってはハス田の北側の整備とあいまって現在の景観は隔世の感の思いです。

手賀沼トラストの発祥は、耕作放棄や手入れが行き届かず、荒れて行く根戸近辺の周辺に危機感を抱いた故日暮朝納さん(初代表)、親友の加太肇江さん(現顧問)の提唱した自然景観の保護・沼をめぐる文化の保全・地域の交流に共鳴した仲間達が集い、活動を始めました。当初は日本ナショナルトラストへの加盟も視野に入れました。初期の活動は、沼南の古墳地の清掃や環境整備にも力を入れました。「初心忘れるべからず」。NPO法人になった今後こそ、人々とふれあう、市民・社会によりコミットした活動が期待されることとなります。周りを見ますと、どのNPO法人も世のため人のために活動の主体となっています。どのNPO法人にも負けない団体になるよう、いろいろと考えてみませんか。

改正特定非営利活動促進法について(第3回)

事務局 國方 幸生

4. 新たな認定制度

(1) 認定制度が税法からNPO法へ移管(法第44条から第57条)

認定制度の根拠法が租税特別措置法からNPO法に変更され、認定機関が国税庁から都道府県及び政令指定都市に移管され、事務が一体化されました。

(2) 仮認定制度の導入(法第58条から第62条)

設立後間がなく活動実績の少ないNPO法人にも税制優遇の対象を広げるための仮認定制度が導入されました。

【仮認定基準】：パブリックサポートテスト(PST)以外の要件を満たしていること。活動の対象が会員などをメインとした共益的な活動でないこと。運営組織及び経理について適正であること。事業活動について一定の要件を満たしていること。情報公開が適正になされていること。所轄庁へ事業報告書等が提出されていること。法令違反、不正の行為等がないこと。設立後1年を超える期間を経過していること。

【税制上の優遇措置】：個人が寄付した場合の寄付金控除。法人が寄付した場合の損金算入限度枠の拡大。相続人が寄付した場合の非課税。等、寄付を促し、将来的な認定取得へスムーズに移行できる措置がとられました。

(3) 目的の改正(法第1条)

NPO法の目的規定に「運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資する特定非営利活動法人の認定に係る制度を設けること」を加えるものとされました。

(4) 情報の提供(法第72条)

内閣総理大臣及び所轄庁は、認定NPO法人、その他のNPO法人の事業報告書等、その他の活動の状況に関するデータベースの整備を図り、国民にインターネットその他の高度情報通信ネットワークの利用を通じて迅速に情報を提供できるように必要な措置を講ずるものとされました。(完) (参考：内閣府HP、千葉県発行ニュースレター)

パブリックサポートテスト(PST)とは？

幅広く市民の支持を得ているかどうかのテスト 認定NPO法人になるための最大の関門

従来のPSTの条件：寄付金等の収入金額 ÷ 経常収入金額 × 100 20%

変更後：各事業年度中の寄付金額 3,000円以上である寄付者の数が年平均100人以上あること

## 7月度 活動報告

活動日	時間	区分	参加者	活動内容	担当部門
7/1	日 8:30	定例	10名	ハス田管理(井戸移設、除草、ティフブレア植付け等)	環境保全 G
7/5	木 10:00	会議	1名	「ちばの WA! 東葛本舗」マッチング準備会	事務局
7/6	金 9:00	農教室	6名	カレーパーティー準備、ジャガイモ、ニンジン収穫	農事農教室 G
7/7	土 8:30	農教室	57名	ジャガイモ(375kg)、ニンジン収穫、カレーパーティー	農事農教室 G
	13:00	養蜂	10名	養蜂用畑の管理(除草、そば収穫等)	環境保全 G
7/12	木	臨時	3名	ティフブレア植付け、補植	々
	13:00	会議	1名	ACNW「行政懇談会」	事務局
7/14	土 8:30	イベント		案山子制作	交流事業 G
7/16	月	会議	7名	根戸新田遊休地管理の件	農地保全 G
7/22	日 8:30	農教室	51名	案山子制作、トウモロコシ、ナス、ニンジン収穫、圃場管理	農事農教室 G
	18:00	会議	9名	第4回定例理事会	事務局
7/25	水 9:00	竹教室	6名	ランチョンマット制作	環境保全 G

## 8月～9月度 活動計画

活動日	時間	区分	活動内容	担当部門
7/28	土 8:30	農教室	案山子制作、夏野菜収穫、圃場管理、特別コース(放射線量、土壌 PH 測定)	農事農教室 G
8/4	土 8:30	イベント	案山子設置	交流事業 G
8/5	日 8:30	定例	根戸城址～金塚古墳公道整備、ハス田管理(井戸移設)	環境保全 G
	15:00	会議	広報担当 Meeting	事務局
8/11	土 8:30	農教室	夏野菜収穫、そば、秋・冬野菜圃場整備(耕運、施肥等)	農事農教室 G
8/19	日 8:30	定例	根戸城址～金塚古墳公道整備、ミカン山管理(除草)	環境保全 G
	9:00	イベント	案山子コンテスト	交流事業 G
8/25	土 8:30	農教室	夏野菜収穫、圃場管理	農事農教室 G
8/26	日 18:00	会議	第5回定例理事会	事務局
8/29	水 9:00	竹教室		環境保全 G
9/1	土 8:30	合同	そば播種、農教室、圃場管理、夏野菜収穫	農事農教室 G
9/8	土 8:30	農教室	秋・冬野菜播種、そば培土、圃場管理	々
9/16	日 8:30	合同	稲のハザ作り	農事農教室 G
9/22	土 8:30	合同	稲刈り、天日干し、ゴマ収穫	農事農教室 G
9/23	日 18:00	会議	第6回定例理事会	事務局
9/26	水 9:00	竹教室		環境保全 G
9/29	土 8:30	農教室	特別コース:栽培セミナー	農事農教室 G

お問い合わせ:TEL:04 - 7184 - 3385(國方)、緊急連絡:HPの「お知らせ」テロップをご覧ください。

### 【手賀沼トラスト創立 15 周年記念事業について】

手賀沼トラストは平成 25 年 2 月に創立 15 周年を迎えます。7 月 22 日に開催された定例理事会において、この年(暦年)を記念事業年として位置付け、年間を通じて記念事業を実施することが提案され、以下のことが承認されました。

コンセプト:人と自然が共生する豊かな潤いのある地域づくり  
目的:手賀沼トラストの実績・主張・方向性を内外にアピールする。(シンポジウム、展示会等を実施する)

推進体制:プロジェクトチーム(PJT)を設置し、実施計画を立案、推進する。

PJTリーダー:遠藤織太郎

PJTメンバー:國方幸生、坂巻宗男、杉野光明、須原直子、富澤崇、原田泰夫、福井教之

### ありがとうございました!

- ・落合良雄様から小型リヤカー1台を頂きました。
- ・原田泰夫様からヘルメットを3個頂きました。
- ・パシフィック我孫子グリーンタウン管理組合様からパイプイス 20脚を頂きました。

### 編集後記

このところの気温の上昇で、稲の生育も順調、8月4日には案山子も立ち並びます。夏野菜の収穫も最盛期になりました。楽しみにしていたトウモロコシが収穫直前に見事にハクビシンにやられてしまいました。残念!

愈々夏本番、ロンドンでは男女のサッカーが強豪國を破り幸先のよいスタートを切りました。他の競技でも日本選手の活躍が大いに期待できそうです。(國方記)